

思いをつないで、その先へ

新型コロナウイルス感染症の拡大により、甚大な影響を受けた今年。そんな困難な中でも多くの寄付や力づけられる出来事がありました。今号では一年を振り返り、その一部を紹介します。



▲区役所1階に展示された江原小学校3年生からのエール。「コロナが流行しないように仕事をしてくれてありがとう」



▲江原小学校3年生。上のパネル以外にも、病院や福祉施設、保健所などへ、応援のメッセージやダンス映像を贈りました

たくさんの寄付がありました

区は、6月1日～8月29日にふるさと納税を活用したガバメントクラウドファンディングを初めて実施。区の感染症対策事業へ174万円の寄付がありました。

また、それ以外にも、感染症対策への寄付金やマスク、消毒剤などの多くの物品が寄せられました。



1. 大妻中野高等学校3年生の瀧澤さんは手作りマスク150枚を寄贈。区立幼稚園で活用されています 2・3. (株)友和から贈られたアクリルパーテーションは、区内企業の若手社員が集まる「ナカノミライブプロジェクト」などで利用

絆と、強い思いで
支え合った一年



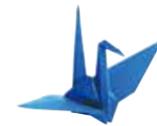
スーパーと協力して 支援一覧を配布

区は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた方への支援一覧を作成。区内のサミットストアなどで配布しています。



動画配信で 学びを止めない

学校の臨時休業期間が長引く中、ICT(情報通信技術)教育の研究指定校として先進的な取り組みを行った中野東中学校。1か月で授業動画約500本を作成し、生徒の自宅学習を支援しました。



中野の元気を
取り戻すために

外出の自粛や催しの中止により、特に飲食店は大きな打撃を受けました。そこで店舗や地域を応援するため、さまざまな取り組みを行いました。

持ち帰り・出前サービスを まるっと中野で紹介

中野区商店街連合会と協力し、中野区公式観光サイト「まるっと中野」に、区内の飲食店を掲載。

紹介チラシも配布。自宅でプロの味を楽しみつつ、地元のお店を応援しませんか▶



「今こそ中野を元気にする事業 ～キズナ・ナカノ・チカラ～」

シティプロモーション事業に取り組み団体を8月に募集し、中野を盛り上げる団体の事業への助成を決定しました。



▲助成事業の一つ、「魔法の森のハロウィンパーティー」のZoom仮装大会の様子

コロナに負けない!

「中野の逸品グランプリ」オンライン開催

区内のテイクアウト・デリバリーのグルメに利用者が投票。全50品の中から、野方餃子(野方6-18-8)の麻辣担々水餃子がグランプリに選ばれました。



野方餃子
代表取締役
大釜さん



中野区を活気づけるため少しでも役に立ちたいと思い、参加しました。料理でみなさんを元気にできたらうれしいです

◀11月15日の最終審査の様子。審査員にはタレントの中川翔子さんも(写真右端)



◀専用HPではその他のエントリーメニューなどをご覧になれます

PICK UP!
ピックアップ

10月オープン! キリンレモンスポーツセンターを紹介



私のおすすめは、2階の「多目的室2」。大きく開放的な窓からは平和の森公園が一望できます。また、トレーニング室には小学生も挑戦できるボルダリングの壁や体への負担が少ない油圧式のトレーニングマシンなどがあり、幅広い年齢の方が利用できる施設です



公園を眺められる施設内のカフェ



1階には平和資料展示室も併設



ヨガのクラスなどに利用される多目的室2

同センター責任者
岩田さん



▲詳しくはこちら